

# TOCHIKEN



## TxC 郷土や伝統を大切にしながら、今を超えていく

神社などの屋根に見られる、天に向かって交差する千木(ちぎ)。かつて神明宮の社殿の千木が、遠くから十本に見えたことが「十千木(とおちぎ)」すなわち「栃木」の語源になったとの説があります。

栃木(Tochigi)の「T」、建設(Construction)の「C」の間に、私たちは、郷土そして古来の建築にまつわる「千木」を見出したいと思いました。そして同時に、この千木の交差する形状をアルファベットの「X=Trans」に見立て、「変える」や「超える」といった意味も込めたいと思いました。

郷土や伝統を大切にしながら、今に満足せず進化していこうとする姿勢をカタチにしたのです。

新年のご挨拶 ..... ❶	ICT活用工事をもっと身近に〜ICT建機を使わないICT施工〜 ..... ❶❶
(一社) 栃木県建設業協会 会長	<栃木県 県土整備部>
栃木県知事	中小企業の事業主の皆さまへ ..... ❶❷
栃木県議会議長	<栃木労働局>
(一社) 全国建設業協会 会長	税務署からのお知らせ ..... ❶❸
<b>特集</b> 栃木県建設業協会100周年記念事業... ❶❹	Topics ..... ❶❹
令和4年度 国土交通省関東地方整備局との意見交換会... ❶❺	続・とちぎのサムライvol.27 ..... ❶❺
関東建設青年会議所通常総会・関東地整との意見交換会... ❶❻	全国津々浦々 お城めぐりの旅
<栃木県建設業協会青年経営者連合会>	インフォメーション ..... ❶❻❶



## 新年のご挨拶



# 年頭所感

一般社団法人 栃木県建設業協会

会長 谷 黒 克 守

新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

皆様方には、常日頃から当協会の活動にご理解をいただき、並々ならぬご協力を頂戴しておりますことにつきまして、紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて新型コロナウイルス感染症対策は、発生から間もなく3か年となる現在においても終息せず、社会経済活動の発展を阻害するばかりでなく生活様式さえも変化させております。私たち業界も感染防止対策に協力し一日も早く、平穏な生活が取り戻せるよう願ってやみません。

こうした中、昨年本県では「いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会」が全国から選手をお迎えして無事開催されました。我々建設業界は総合スポーツゾーンをはじめ県内各所の関連施設整備事業に着実に取り組み、大会開催に貢献できたことを誇りに思っております。

当協会は大正12(1923)年1月に137名の有志により栃木県土木建築請負業組合として発足して以来、創立100周年を迎えました。先日、多くの皆様をお迎えして記念式典を挙行することができ、これも皆様のご尽力とご支援の賜と改めてお礼申し上げます。創設当初は会員企業の融和と地位向上のため発足したと聞き及んでいますが、今日では組織力をいかに発揮し、地域になくてはならない存在となっております。

100年史をまとめるにあたって、建設機械も無い頃、まさに人の力と技で優れた構造物を作り上げてきた写真を見るたびに畏敬の念を禁じ得ません。こうした先人の偉業に恥じることなく新たな進化を遂げるためこれから乗り越えなければならない建設業の働き方改革、ICT 土工・DX など技術革新への対応についても、積極的に進めて参りたいと考えております。

先日、青年経営者連合会が初めて開催した、子供たちに建設業の魅力を伝えるイベント「建 FES GO！」は、天気にも恵まれ大勢の親子連れに集まっていただき、成功裏に開催することができました。また、今後実施を予定している「とちぎ建設業合同企業説明会」も、初めての試みとなり、こういった新しい取組についても着実に積み上げて会の発展につなげていきたいと考えております。

さらに、私たち建設業がその社会的使命を果たしていくためには健全で安定した経営が不可欠でありますことから、国や県に対しては引き続き、公共事業予算の持続的な確保と国土強靱化に向けた予算がしっかりと確保されるよう強く要望して参ります。

そして建設業が、「地域の創り手・守り手」として地域から信頼され地域に存続していくよう、この100周年を新たな出発の年として、災害対応はもちろん社会資本の整備や維持管理にもしっかりと取り組んでいく決意ですので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、今年の干支は卯年で、一段上へと跳躍する年と言われておりますので、会員の皆様が実り多い発展を遂げられますようご祈念し、新年のご挨拶といたします。



## 新年のご挨拶



# 新年あいさつ

栃木県知事 福田 富一

皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、謹んで御挨拶を申し上げます。

はじめに、本年は、明治6（1873）年に栃木県と宇都宮県が合併し、おおむね現在と同じ地域の栃木県が誕生してから150年の節目の年となります。皆様と共にこの記念すべき年を迎えられますことを、大変うれしく思うところであります。

また、6月には、我が国で初めてとなるG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が本県で開催されます。この機をとらえ、栃木県の魅力・実力を広く国内外に発信し、地域経済の活性化やブランド力の向上に努めて参ります。

さて、昨年開催された「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」につきましては、本県選手団の活躍に感動と勇気をもらうとともに、県民総参加により大きな成果を収めて成功裏に閉幕することができました。今後は、スポーツを通じた地域活性化など、両大会を通して培われた有形・無形のレガシーを確実に継承して参ります。

一方、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、保健・医療提供体制の整備やワクチン接種促進に向けた取組を着実に進めますとともに、引き続き、国や市町、関係機関等と緊密に連携し、県民の命と健康、暮らしを守るため、必要な対策に万全を期して参ります。

また、長期化するコロナ禍に加え、物価高騰などにより地域経済が大きな打撃を受けている状況を踏まえ、社会経済活動の回復に向け、各種対策に取り組むとともに、強靱で稼ぐ力のある産業基盤の確立を図って参ります。

さらに、栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」に掲げた本県の将来像「人が育ち、地域が活きる未来に誇れる元気な“とちぎ”」を実現するため、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略にも呼応しながら、本県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創生15戦略（第2期）」と連携し、プランに基づく各種プロジェクトをより積極的に展開して参ります。

特に、人口減少・少子化対策としまして、若者や女性が働きやすい環境づくりを進めるとともに、結婚の希望をかなえ、安心して妊娠・出産、子育てができる魅力ある地域づくりに取り組んで参ります。また、経済発展と地域課題の解決を両立することができる社会（Society5.0）の実現を目指し、デジタル技術の活用やデジタル人材の育成に積極的に取り組むとともに、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、オール栃木体制による脱炭素化の取組を着実に進めて参ります。

社会が大きく変化する中におきましても、時代の潮流を的確にとらえ、デジタル技術も有効に活用しながら課題解決や魅力向上を図り、未来に誇れる「新しいとちぎ」づくりに全身全霊で取り組んで参りますので、皆様のより一層の御理解と御支援をお願いいたします。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



## 新年のご挨拶



# 活力にあふれ 選ばれるとちぎを目指して

栃木県議会議長 山形 修治

新年おめでとうございます。令和5年の年頭にあたり、県議会を代表し、謹んで御挨拶を申し上げます。

一般社団法人栃木県建設業協会におかれましては、創立100周年を迎えられ、長年にわたる建設事業に関する幅広い活動を通じた、本県建設業界の発展への多大なる御尽力に対し、心から敬意と感謝の意を表する次第であります。また、日頃から積極的に社会貢献活動に取り組み、県及び市町との共同防災訓練の実施や豚熱（CSF）にかかる防疫措置等に際し、多大な御協力・御尽力を賜り、重ねて深く感謝申し上げます。

私は、昨年3月、栃木県議会の第109代議長に就任いたしました。初代議長から現在に至る県議会143年の歴史と伝統に思いを馳せ、議長という職責をしっかりと果たすべく、公平・公正、中立を信条に、活力あふれる議会運営に全力で取り組んで参りました。

お陰をもちまして、議長としての重責を果たしながら新春を迎えることができました。これもひとえに皆様方の温かい御支援・御協力の賜物と心から感謝を申し上げる次第であります。

昨年を振り返りますと、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」が盛大に開催され、スポーツのすばらしさや感動を味わうとともに、県民を挙げてのおもてなし、感染症対策、環境に配慮した取組、県民の皆様方の思いを結集して本県の魅力・実力を全国に発信するなど、実り多い大会となりました。

さて、新型コロナウイルス感染症への対応は依然予断を許さない状況が続いており、感染症の収束に向けた対策の徹底はもとより、状況に応じた見直しと検証が必要と考えております。加えて、社会経済活動の回復に向け、各種施策の一層の推進が必要であります。また、気候変動の影響による気象災害が頻発しており、防災減災対策や農作物の新品種・新技術の開発などにも取り組まなければなりません。

こうした中、本県では、明るい栃木の未来に向けて、「とちぎ未来創造プラン」に基づき、人材育成や地域活性化等を目指す施策を推進しているところであります。今年、計画期間の後半を迎え、これまでの取組を確かな成果へとつなげていく重要な年であり、県議会といたしましても、県政の方針を決定する議決機関としての役割をしっかりと果たすことで、県民の皆様が未来に誇れる元気な栃木の実現を目指し全力を尽くして参ります。

また、今年、栃木県誕生150年や、G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合の開催等が予定されており、これらを契機とした県民の皆様方の郷土愛の高まりや女性活躍の一層の推進、さらなる本県の魅力・実力の発信により、活力にあふれ、選ばれる地域社会の実現へとつながっていくものと確信しております。

どうか皆様方におかれましては、今後とも建設事業を通し、「ふるさととちぎ」の振興・発展のため、なお一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人栃木県建設業協会のますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝・御多幸を祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。



## 新年のご挨拶



# 年頭所感

一般社団法人 全国建設業協会

会長 奥村 太加典

令和5年の新春を迎え、謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

平素は、全建の事業活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り、深く感謝いたします。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、感染拡大防止を図りながら行動制限を緩和するなど、社会経済活動の正常化に向けた取組が進んだことにより景気を持ち直しが期待されましたが、ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安等が物価高をもたらし、建設業においても資機材の価格高騰や品薄などの影響を大きく受ける1年となりました。

また、気候変動の影響により近年頻発化、激甚化している豪雨や台風等の災害が、昨年も全国各地で発生し、橋や道路の崩壊などの甚大な被害をもたらしました。南海トラフ地震や首都直下地震等の巨大地震が近い将来発生することも想定されており、事前防災の重要性がより一層増しています。

このような状況の中、地域建設業は、災害時の対応など人々の安全・安心を守る「地域の守り手」としての役割と、人々が豊かで持続可能な生活を営むために必要な社会生活基盤づくりの中心的役割を果たしていかななくてはなりません。そして、これらの社会的使命を担う建設企業は、健全でサステナブルな経営を続ける必要があります。そのためには、安定的・持続的な事業量を確保できるよう、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の確実な執行を含めた社会資本整備の着実な推進を、引き続き政府や関係機関へ広く訴えていかななくてはならないと考えております。

昨年一部の報道で、公共事業予算の翌年度への繰越について、建設業界の引き受け能力を超えた予算を確保していることが要因であるとの誤った指摘がありました。これは本来当初予算で計上すべき国土強靱化予算が補正予算で計上されたこと等によるものであり、建設業界の施工余力に全く問題がないとの姿勢を引き続き示していくことも必要です。

さらには、将来の担い手確保のため、建設業で働く人々や建設業を目指す若者が、夢と誇りをもって活躍できる希望に満ちた産業となるよう、新3K（「給与」、「休暇」、「希望」）に「かつこいい」を加えた新4Kの実現に向け、働き方改革の推進や生産性の向上等を早急に進めることも重要です。

全建としましては、2024年4月の時間外労働の罰則付き上限規制の適用を見据えて週休2日と時間外労働の上限を年360時間以内とすることを目標としている「2+360（ツープラスサンロクマル）運動」などを通じた労働条件の改善、女性の更なる活躍に向けた職場環境の整備、ICTの活用やDXの普及促進による生産性向上、地域建設業が活躍する姿を広く社会に周知するための広報活動の強化等に積極的に取り組んでまいります。

本年も、全建は47都道府県建設業協会並びに会員企業の皆様方と一体となり、地域建設業発展のため全力で取り組む所存でございますので、ご理解とご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。

# 栃木県建設業協会100周年記念事業

## 記念講演会

栃木県建設業協会（谷黒克守会長）は令和4年11月11日ホテル東日本宇都宮において、創立100周年記念式典・祝賀会を開催しました。

式典には来賓として福田富一栃木県知事、茂木敏充自民党幹事長、当協会の顧問でもある佐藤勉衆議院議員、山形修治栃木県議会議長、石津健光茨城県建設業協会会長、渡邊勇雄栃木県建設団体連合会長、栃木県市長会長の佐藤栄一宇都宮市長、佐藤信秋、足立敏之の両参議院議員、栃木県の幹部職員、栃木県議会議員、関連団体の代表など多数が招かれました。多くの会員企業も出席し総勢約450人の式典となりました。



佐藤勉衆議院議員



渡邊勇雄栃木県建設団体連合会長



佐藤信秋参議院議員



足立敏之参議院議員

1923年1月に「栃木縣土木建築請負業組合」として発足した「栃木県建設業協会」は、現在では会員会社総数348社を数える県内最大規模の組織へと発展し、「地域の守り手」としての社会的な使命を果

## 記念式典

たすべく、次なる一世紀に向かって新たな進化を遂げ、希望の持てる産業への構造改革を推し進めています。

### 1. 記念講演会

政治ジャーナリストの田崎史郎氏が「日本の政治の舞台裏～岸田政権の行方」と題して、式典に先立って記念講演が行われました。建設業界における影響なども交えて講演いただき、「今後岸田政権の支持率低下には拍車がかかるだろう。」との予測を披露していただきました。



田崎史郎氏

### 2. 記念式典

開式にあたり谷黒会長は「地域建設業は地域の守り手としてますます重要となっている。経営力の強化、技術のさらなる向上に努め、担い手確保のための働き方改革など、新しい課題に積極的に取り組み、100周年を新たな進化を遂げる出発の年とし、会員企業の発展を目指し、総力を結集し、未来の子供たちが安心して暮らせる県土づくりに貢献する。」と式辞を述べました。



谷黒克守会長



増淵薫創立100周年記念事業実行委員長



福田富一栃木県知事

来賓からは福田富一栃木県知事が「県建設業協会は地域の守り手として、大きな役割を果たしてきた。2011年の東日本大震災の復旧復興や2019年の東日本台風における迅速な対応、鳥インフルエンザや豚熱といった防疫活動などにも活躍し、深く敬意を表する。今後も安全安心を実感できるとちぎづくりに特段の協力をお願いしたい。」と挨拶がありました。



茂木敏充自民党幹事長

また茂木敏充自民党幹事長は「関東大震災の年に発足してから100年にわたり、地域の守り手として生活や経済、産業に欠かせないインフラの整備、社会基盤の強化に努めてきた歴代の会長および会員に対して敬意を表する。」と感謝のお言葉がありました。

その後100周年を機に建設業進化論の誓いの証となる新しいロゴマークが披露となりました。新ロゴマークは栃木の「T」建設の「C」、その間に古来の建築にまつわる千木をモチーフに交差する形状をデザインし、併せてDXを推進する新産業への進化を込めた「X」を入れたものです。



### 3. 祝賀会



佐藤栄一宇都宮市長

祝賀会では佐藤栄一宇都宮市長が「17日からLRTの試運転を開始する。夜間から早朝にかけて初日は時速5km、翌日から時速15kmで走行。全国が注目する公共交通のあり方を問う試金石。県内への移住定住につなげたい。」と挨拶がありました。



木村好文自民党栃木県連幹事長

その後正副会長と来賓の方々での鏡開きが行われ、木村好文自民党栃木県連幹事長の乾杯で祝宴へと入りました。

祝宴中は「スタジオミュージシャン」また「ものまねシンガー」としてテレビ等でも活躍中の「荒牧陽子」さんのステージのアトラクションもあり、大変盛り上がりしました。



# Photo Instagram Contest

## 「とちけん大賞」決定!



栃木県建設業協会100周年記念事業として「Instagram」にて行ったフォトコンテストの結果が発表されました!!

テーマは栃木県を題材にした写真とし、県内各地の道路や河川、一般的な建物から歴史的建造物、四季の風景をバックにした県内の観光名所など。そして、お肉やお魚料理からスイーツのグルメ写真など素敵な投稿が多く寄せられました。

応募期間は、5月から10月までとし全3回、季節（春、夏、秋）で分けて募集しました。

厳正なる審査の結果、各回50点の入賞作品が選ばれ、その中の2作品が「とちけん大賞」として選ばれました。入賞者には豪華賞品もプレゼントされました。

第1回から1,500件を超えるたくさんの応募があり、第2回、第3回は2,000件を超えました。

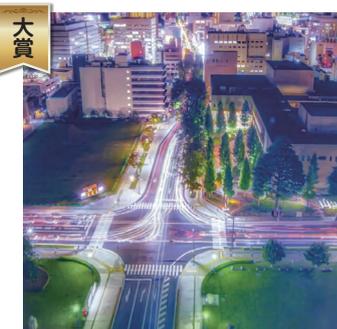
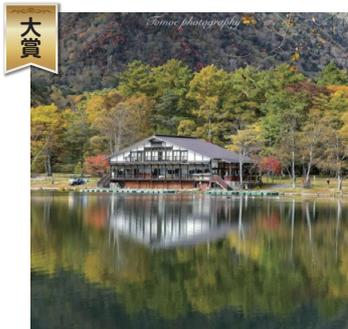
各回の応募数は以下のとおりとなりました。

第1回 #とちはる [応募件数] 1,683 件

第2回 #とちなつ [応募件数] 2,227 件



第3回 #とちあき [応募件数] 2,039 件



大神田 知恵さん

この度は、とちけん大賞に選んで頂きありがとうございました。数ある作品の中から選んで頂けたこと、大変嬉しく思います。地域を創り、地域を守る。清掃活動などの守る取組みもされていて、大賞頂いた写真の日光を始め、栃木には守っていかなくてはならない自然が沢山あります。創ると、守るを大切にされているので、安心して栃木を任せられると思っております。この度は創立100周年、誠におめでとうございます。100年という歴史の重みを感じます。今後ますますのご繁栄をお祈り致します。



相馬 利明さん

大賞をいただきありがとうございます。この写真は栃木県庁展望室から撮影した夜景です。おきにいりの一枚を選んでいただき嬉しいです。建設業協会100周年おめでとうございます。

建設が地球を作ってる!? 未来をつくるのは君たちだ!

100  
TOCHIGI  
栃木県建設業協会

建 FES GO!

～こどもの建設職業体験～



令和4年11月27日(日)、栃木県建設業協会青年経営者連合会は小学生を対象に、職業体験型イベント『建FES GO!』を宇都宮市道場宿緑地にて開催いたしました。

本イベントは、業界喫緊の課題である担い手確保の観点から、歴代役員会の中で常々やりたいと考えておりましたところ、親会である栃木県建設業協会の100周年記念事業の一環としてやってはどうかとのお声がけをいただき、親会からの多大なるご支援により実現いたしました。

また、栃木県をはじめ、多数の資機材・メーカー様のご支援をいただき、さらにCCIとちぎ様、とちぎ建設技術センター様からはご協賛を頂戴いたしました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

事前予約490人限定の職業体験では、予約開始数時間で定員に達するなど大変大きな反響をいただきました。

イベント当日、約4,000人の来場者に対し、トラックステージでは大型スクリーンにて業界PR動画を上映、大道芸や丸太切りクイズ、バルーンアート、キッチンカーによる食事提供などによりおもてなしし、さらには、『大人の一生懸命な姿を見る!』という栃木プロレスによる試合がイベントに花を添えてくれました。子供たちは白熱した真剣勝負を目の当たりにし、倒れても何度でも立ち上がる選手に対しリングサイドをたたいて声がかかるまで応援していました。また、展示ブースでは、大型重機に直接触れてそのスケールを感じた子供たちは興奮を抑えられない様子でした。

本事業のメインとなる職業体験ブースでは、各支部が練り上げた建設にちなんだ職業体験を展開しました。子供たちは職業体験で「(動いてくれて)ありがとう」と言われ模擬のお金を稼ぎ、そのお金で「(売ってくれて)ありがとう」と言って袋を買い、そこにお菓子をあふれんばかりに詰め込んで帰りました。学校ではなかなか学べない『お金=ありがとう』について少しでも感じてもらえたのであれば幸いです。

袋からこぼれ落ちそうになるお菓子を抱えながら保護者のところまで走っていく際に見せる笑顔は、当日快晴の空の太陽よりもまぶしく光り輝いて見えました。

参加する子供たちのはじけるような笑顔につられ、普段は強面な業界の面々までクシャクシャになって笑っていたことが本イベントの成功を物語っていました。業界若手の総力を挙げて取り組んだことで、会員相互の一体感がより一層醸成されたと感じられる結果となりました。

本イベントを通じて、親御さんの業界に対する理解が進むとともに、一人でも多くの子供が我々業界を目指してくれることを願ってやみません。

## 参加者からの声



山中真音さん(小学5年生)  
山中維月くん(小学3年生)  
北條純輝くん(小学5年生)  
北條紗幸さん(小学3年生)

Q 今日どんな体験をしましたか?

A 大きな機械を動かしました。

Q 一番面白と感じたことはなんですか?

A 機械で重たいものを吊って移動させたことです。

Q その他感じたことは?

A 他の体験もしてみたいです。



玉木恒太郎くん  
(小学5年生)

玉木誠くん  
(小学2年生)

Q 今日どんな体験をしましたか?

A コンクリートをかき混ぜて、器に入れました。

Q 一番面白と感じたことはなんですか?

A かき混ぜるときにだんだん重くなっていくところ。

Q その他感じたことは?

A コンクリートをつくるのに大きな車や機械が必要なんだと分かった。





## 令和4年度 国土交通省関東地方整備局との意見交換会



(一社) 栃木県建設業協会  
谷黒 克守 会長

令和4年11月25日、栃木県総合文化センター特別会議室において関東地方整備局廣瀬局長ほか県内直轄事務所長を含む役職者、栃木県県土整備部坂井部長ほか幹部職員、栃木県建設業協会谷黒会長ほか副会長、各支部長、総務企画・技術・広報各委員長などが参集し意見交換会が開催されました。



国土交通省 関東地方整備局  
廣瀬 昌由 局長

関東地方整備局長、栃木県県土整備部長、栃木県建設業協会長による挨拶の後、関東地方整備局企画部石浜技術開発調整官の進行で、関東地方整備局の取組、建設産業行政の最近の動きについての説明がありました。栃木県建設業協会から活動状況や創立以来100周年を迎える協会が次の100年に向けて新たな飛躍を遂げるための契機とし、各種「創立100周年記念事業」を実施するとともに、令和4年11月11日に執り行った記念式典・祝賀会について説明を行いました。（入江副会長説明）



栃木県県土整備部  
坂井 康一 部長

次に、国から昨年度意見要望への対応状況説明があった後、意見交換を行い、栃木県建設業協会からは次の意見要望を提出し国等の所見を伺いました。

- 議題1 防災・減災対策の推進と社会資本整備による強靱な国土づくり（増淵副会長説明）
- 議題2 週休2日制導入に伴う人件費等への対応について（竹澤副会長説明）
- 議題3 建設資材の価格高騰等への対応について（山根副会長説明）
- 自由討議 設計労務単価等の引き上げについて（菊池常任理事説明）
- 自由討議 「地域の守り手」としての地位の確立について（斎藤常任理事説明）

最後に、関東地方整備局田中副局長が熱心な意見交換に謝辞を述べ、閉会しました。



## 関東建設青年会議通常総会・関東地整との意見交換会を開催!

### 栃木県建設業協会 青年経営者連合会



挨拶を述べる白井崇雄会長（神奈川県）

令和4年10月19日、ホテルブリランテ武蔵野（さいたま新都心）で令和4年度関東建設青年会議通常総会と関東地方整備局との意見交換会が開催された。新型コロナウイルス感染症の影響で書面決議や人数を大幅に減らしての開催となった一昨年、昨年と比べ、感染対策を万全に行つての久しぶりのホテルでの総会、意見交換会の開催となった。

通常総会の冒頭、主催者である（一社）神奈川県建設業協会建設みらい委員会の白井会長から「無事に2年間の任期を務めることができたのは、ひとえに皆様のご理解とご協力があったこと」と御礼の言葉があった。

議事では令和3年度の事業として、建設産業向上委員会とCTI建設産業情報発信委員会の活動、全国建設青年会議事業への協力について報告。令和4年度事業として、①建設業における情報交換の推進、②持続的な建設産業向上の推進、③社会貢献活動の発信と推進、④災害対応に関する取り組み、⑤第27回全国建設青年会議全国大会への参画といった活動方針が掲げられた。

また、令和5年度は、関東ブロックが全国建設青年会議の主幹ブロックとなることから、第28回全国大会に向けて、対応委員会を設置することを説明。これら議案に関しては、満場一致で承認がされた。

その後の役員改選では、（一社）千葉県建設業協会青年部会の初山大介氏が新会長に選出された。初山新会長は「次年度は、関東ブロックが全国建設青年会議の主幹ブロックとなる。皆様の協力がなければ成功させることはできないので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。」と意気込みを語った。

その後の意見交換会では、小林企画部長による挨拶後、関東建設青年会議建設産業向上委員会委員長で山梨県建設業協会青年部会の湯沢信氏から、各県建設業協会の会員企業を対象に行つた「建設業の今後を考えるアンケート」の実施報告。CTI建設産業情報発信委員会委員長で群馬県建設業青年経営者部会の篠原玄洋氏から、「建設現場での仕事内容を紹介するYouTube動画」に関する説明があった。活動の報告後、関東地整から様々な質問が寄せられていた。最後に情報提供として、関東地整が行う最近の話題に関する説明と全体を通しての講評があり、意見交換会は終了した。



熱心な議論の風景（総会）



意見交換会風景

# ICT活用工事をもっと身近に ～ICT建機を使わないICT施工～

栃木県県土整備部技術管理課

## 1 はじめに

人口減少や少子高齢化等の社会的な背景の煽りを受け、類に漏れず建設業においても人手不足に伴う担い手の確保が喫緊の課題となっています。そのため、建設生産システム全体の生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指すi-Constructionの取組みが全国的に推進されています。

栃木県においても、建設現場の生産性向上のため、平成28年11月「栃木県県土整備部におけるICT活用工事試行要領」を策定し、これまで対象工種の拡大や普及促進の取組みを行い、令和4年10月の要領改定では「土工1000㎡未満」及び「小規模土工」を追加したところです。

今年で7年目を迎える取組みではありますが、その普及には、全面活用の難しさ、ICT建機のリース費用等の課題があります。

そのため本稿では、低コストで段階的なICT導入を目的に、令和3年4月から適用した「簡易型ICT」についてご紹介します。

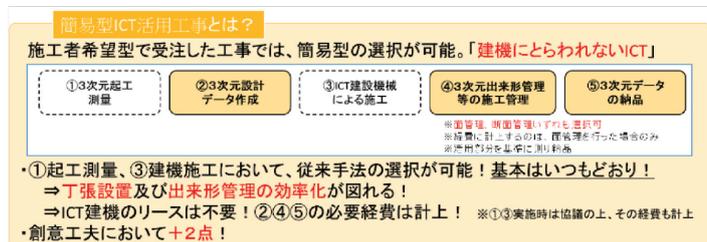
## 2 簡易型 ICT について

### (1) 概要

ICT活用工事と聞くと、「UAVやTLSによる測量」「丁張いらす」そして「ICT建機による施工」といったイメージが強いのではないのでしょうか。

しかし、簡易型ICTは、「従来手法による起工測量」「丁張は必要」そして「従来建機による施工」と、これまでとイメージが大きく異なります。

簡易型ICTは、施工プロセス②3次元設計データ作成及び④3次元出来形管理、⑤データ納品における部分的な活用を必須とし、①3次元起工測量及び③ICT建機による施工は選択制（従来手法の選択が可能）とした『建機にとらわれないICT活用工事』です。



### (2) 丁張設置の効率化

簡易型ICTでは、3次元設計データを活用することで、事前の丁張計算が不要になることや、任意点への設置がその場で対応が可能となります。つまり、3次元設計データがあれば「丁張いらす」だけでなく『丁張も効率化』することができるのです。

具体的には、自動追尾TSや360度プリズム等を活用し、専用のタブレット上で、設計データと実測値を定量的に比較することで、中心線の位置出しや掘削面等の確認をしながら丁張を設置します。国交省の実証実験では、従来手法に比べ、1カ所あたりの設置時間が1/3になったとの報告もあります。

### (3) 出来形管理の効率化

出来形管理においては、面管理は勿論のこと、TSを用いた断面管理を選択することも可能であり、計測時の省力化や調書の自動作成による効率化を図ることができます。

## 3 さいごに

建設工事のDX化は、これからの地域の守り手を確保するために必要なものと考えており、発注者である我々自身も、より深く知識を習得する必要があると認識しています。

今後とも、建設業界の皆さんがICTを活用しやすい環境づくりを行い、建設業全体の生産性向上や働き方改革を全力でサポートしていきたいと考えています。

中小企業の事業主の皆さまへ  
**2023年4月1日から**  
**月60時間を超える時間外労働の割増賃金率が引き上げられます。**

**具体的な算出方法（例）**

1か月の起算日からの時間外労働時間数を累計して60時間を超えた時点から50%以上の率で計算した割増賃金を支払わなければなりません。

算出例  
 > 1か月の起算日は毎月1日  
 > 法定休日は日曜日  
 > カレンダー中の青字は、時間外労働時間数  
 > 時間外労働の割増賃金率  
 60時間以下・・・25%  
 60時間超・・・50%

日	月	火	水	木	金	土
	1 5時間	2 5時間	3	4 2時間	5 3時間	6 5時間
7 5時間	8 2時間	9 3時間	10 5時間	11	12 5時間	13 5時間
14	15 3時間	16 2時間	17	18 3時間	19 3時間	20 3時間
21	22 3時間	23 3時間	24 2時間	25 1時間	26 2時間	27 1時間
28 3時間	29 1時間	30 1時間	31 2時間			

↑ 法定休日労働  
 ↑ 月60時間を超える時間外労働

**割増賃金率**

- ◆ 時間外労働（60時間以下）      カレンダー白色部分    = 25%
- ◆ 時間外労働（60時間超）        カレンダー緑色部分    = 50%
- ◆ 法定休日労働                      カレンダー赤色部分    = 35%

## 緊急対策 『STOP！“建設3大災害”』

栃木県内の建設業において、7月と8月に、運転中の建設機械が路肩から転落し、この建設機械の下敷きとなり作業員が死亡するという建設重機災害が立て続けに発生しました。

また、栃木県内の建設業においては、令和3年以降（令和4年8月15日現在）、労働災害によって9名の方が尊い命を落とし、このうち7名の方が「建設3大災害」と言われる建設重機災害、墜落・転落災害又は崩壊・倒壊災害によってその尊い命を落とすという緊急事態となっています。（下表「建設3大災害の概要（死亡災害）」参照。）

建設業における死亡災害を撲滅するため、下記の緊急対策『STOP！建設3大災害』実施要綱に基づき「建設3大災害」防止の徹底に取り組みましょう。

### < 緊急対策 『STOP！“建設3大災害”』実施要綱 >

1 目的

建設3大災害（建設重機災害、墜落・転落災害及び崩壊・倒壊災害）防止に集中的に取り組むことにより、建設業における死亡災害を撲滅する。

2 実施事項

- (1) チェックリストによる点検を実施して「建設3大災害」防止を徹底する。
- (2) 『Aない声かけ運動！プラス』を実践して「建設3大災害」防止を徹底する。

# 税務署からのお知らせ

令和4年分の申告と納税は期限内に！

- 令和4年分の申告と納税は、期限内にお願いします。

	所得税及び贈与税	消費税（個人事業者）
申告及び納期限	<b>3月15日（水）</b>	<b>3月31日（金）</b>
振替日	所得税： <b>4月24日（月）</b> 贈与税：口座振替は利用できません	<b>4月27日（木）</b>

## 各税務署の確定申告会場のご案内

【開設期間】 **2月16日（木）から3月15日（水）**（土、日、祝日を除く。）

税務署	会場	所在地	問い合わせ先
宇都宮	マロニエプラザ	宇都宮市元今泉6-1-37	028-621-2151
足利	足利税務署	足利市伊勢町4-18-2	0284-41-3151
栃木	栃木商工会議所（大ホール）	栃木市片柳町2-1-46	0282-22-0885
佐野	佐野税務署	佐野市若松町425	0283-22-4366
鹿沼	鹿沼商工会議所（アザレアホール）	鹿沼市睦町287-16	0289-64-2151
真岡	真岡税務署	真岡市荒町5178	0285-82-2115
大田原	大田原税務署	大田原市紫塚1-5-54	0287-22-3115
氏家	氏家税務署	さくら市氏家2431-1	028-682-3311

【受付時間】 **午前9時から午後4時まで**

※確定申告会場の密を避けるため、会場への入場には「入場整理券」が必要です。入場整理券は、LINEで事前取得出来ます。なお、会場でも当日配付します。

また、入場整理券の配付状況に応じて、後日の来場をお願いすることもあります。

※上記開設期間中、宇都宮・栃木・鹿沼の各税務署は署庁舎で申告相談を行っておりませんのでご注意ください。

※マロニエプラザ（宇都宮税務署）は、2月19日（日）と26日（日）も開場します。

## マイナンバーカードを使って自宅からスマホで確定申告！

《令和4年分確定申告から》

○申告の際に必要なマイナンバーカードの読み取り回数が1回になります。（過去にマイナンバーカード方式で申告をされた方が対象です。）

○青色申告決算書・収支内訳書の作成が、スマホ専用画面で可能になります。

《動画で見る確定申告》

《確定申告書等作成コーナー》

《マイナポータル連携》



動画で見る確定申告



確定申告



マイナポータル



国税庁ホームページ <https://www.nta.go.jp>



## 令和4年度「関東甲信越地方ブロック会議」開催

### 【本部】



令和4年10月5日(水)東京都の経団連会館において令和4年度建設業協会関東甲信越地方ブロック会議が開催されました。

#### 〈出席者〉

- 国土交通省  
長橋和久不動産・建設経済局長 外11名
- 関東地方整備局 廣瀬昌由局長 外3名
- 北陸地方整備局 2名
- 中部地方整備局 2名
- 一都九県県土整備部長等
- 一般社団法人全国建設業協会  
奥村太加典会長 外9名
- 関東甲信越地方の10都県建設業協会正副会長  
外幹部職員32名

本県協会からは谷黒克守会長と入江和夫副会長、印南洋之専務理事が出席しました。

関東甲信越ブロック会長会要望事項として以下の9項目の議案が提案されました。

- ① 防災・減災、国土強靱化の「5か年計画」の策定と安定的持続的な予算の確保について  
【新潟県協会提案】
- ② 建設資機材の価格高騰への対応について  
【神奈川県協会提案】

- ③ 公共工事標準請負契約約款第30条（不可抗力による損害）の改善について  
【長野県協会提案】
- ④ 働き方改革に伴う現場管理費（職員給与、福利厚生費など）の根本的な見直しについて  
【山梨県協会提案】
- ⑤ 週休二日制導入に伴う人件費等への対応について  
【栃木県協会提案】
- ⑥ 総合評価落札方式における賃上げを実施する企業に対する加点措置について  
【群馬県協会提案】
- ⑦ 技術者不足への対応について  
【千葉県協会提案】
- ⑧ 改正品確法の市町村への徹底について  
【埼玉県協会提案】
- ⑨ 直轄工事への新規参入の促進について  
【茨城県協会提案】

本県協会提案の「⑤週休二日制導入に伴う人件費等への対応について」は、入江副会長から年収維持のための労務単価の引き上げと週休二日制工事の補正率のさらなる引き上げ、週休二日制工事の民間工事導入に向けた実効性ある取り組みの三点について要望しました。





# いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会

【本部】



▲いちご一会会場中心の好エリアに出展させていただきました！

令和4年10月1日～11日とちぎ国体が42年ぶりに、10月29日～31日のとちぎ大会は初めて、本県で開催されました。

これに伴い、栃木県の様々な魅力を来県する多くの方々や全国に向けて広く発信するためのブース出展が募られ、国体パートナーである栃木県建設業協会も、栃木県総合運動公園「いちご一会広場」にてインスタ映えスポットの設置、及び広報機関紙やノベルティグッズの配布で業界のPRを行いました。

ブースに6つの巨大パネルを展示したところ、会場施設の全景巨大パネルは珍しく、また栃木県のゆるキャラで人気のとちまるくんと建設作業員がコラボレーションした顔抜きパネルも好評で、多くの来場者が足を止めてくださいました。



そのほか「建設業と一緒に作ろう伝説を」のPR動画を終日放映し、耳にサウンド、目にダンスを印象付けることができました。

配布したノベルティグッズの「缶飲料キャップ」1万3千個にも「栃木県建設業協会100周年」の印字があり、安心を支え続けて100年、そしてこれからの100年も人々の安心を支える建設業の決意を多くの方にPRできたのではないかと思います。

# 国体参加者への『おもてなし』

～産学官共同で雀宮駅前に「おもてなしフラワーポット」設置～

【宇都宮支部】



▲産学官共同で花を植える

(一社)宇都宮建設業協会(菊池三紀男会長)は栃木県宇都宮土木事務所(青木淳所長)ならびに栃木県立宇都宮工業高等学校(菅野充広校長)と共同でJR雀宮駅東口ロータリーにフラワーポットを設置しました。

これは42年ぶりに栃木県で開催された「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」のメイン会場となったカンセスタジアムへ向かうシャトルバスの発着場所がJR雀宮駅になることから、国体参加者ならびに観戦者への『おもてなし』とともに栃木県のイメージアップを図ることを目的としたものです。



▲参加者への「おもてなし」

3者の協力体制は、宇都宮土木事務所が占用許可の申請をはじめとした対外的な折衝全般を担当、宇都宮工業高校が間伐材を利用した花鉢を制作・提供し、宇都宮建設業協会が花・土・PR看板を提供しました。また、花の植え付けや設置は3者合同で実施し、国体開催期間中の花への水かけ等も3者で分担して行うという、まさに産学官が三位一体となって進めた事業となりました。(岩原産業(株) 岩原正樹)



## 都市計画道路3・4・202号 古峯原宮通り(千渡東工区) 開通式

【鹿沼支部】



▲全体集合写真

令和4年9月25日に都市計画道路3・4・202号古峯原宮通り(千渡東工区)開通式に出席いたしました。本路線は通勤通学等の日常生活を支えるとともに、宇都宮市との連携を図る上で重要な路線です。しかしながら、現道部は交通量が多く、朝夕を中心に慢性的な渋滞が発生しており、歩道が狭隘であることから、円滑な交通と自転車・歩行者の安全の確保が求められていました。本路線のバイパス整備により、現道からバイパスへの交通転換がなされ、現道部の慢性的な交通渋滞が緩和し、目的地への走行時間が短縮されます。また、宇都宮市との連携が強化され、地域産業および経済の活性化につながります。



▲宇賀神支部長がテープカットに参加



▲開通式式典に参加

両側に3.0mの歩道が整備され、歩行者や自転車の安全で快適な通行空間が確保され、バイパスが4車線化することにより緊急車両の通行がスムーズになり、都市防災機能の強化となります。

同日の午後2時に暫定2車線で供用開始、残りの2車線は令和5年度に予定されています。(株)半貫建設 半貫昌英

## 令和4年度日光土木事務所 道路除雪隊出動式

【日光支部】



▲集合写真

今年も除雪の季節になり、令和4年11月2日に日光土木事務所において道路除雪隊出動式が行われました。今回は、式に先立ち近隣小学校の4年生児童を対象に、日光建設業協同組合員がドーザ等道路除雪機械の働きを説明しました。児童たちは初めて間近に見る除雪機械に驚きながら見学していました。

冒頭あいさつで、松本所長は「除雪作業の安全確保」「未来への期待」等を挙げ、それぞれ「資機材の点検や作業手順の確認徹底」「児童に除雪作業への関心を持ってもらい、未来の地域を守る人材の育成」等を訴えました。道路除雪隊を代表して、柴田政之代表理事は「維持管理業務委託を受諾後、道路や河川など生活基盤の確保、復旧に組合員が結束し全力で取り組み、地域に安全・安心を届けてきた。除雪についても同様に成果を挙げてきた。培った技



▲説明を聞く児童たち

術、技能、地域とのコミュニケーションを生かし、安全・安心・確実な冬季交通の確保に全力を挙げて除雪作業に従事する」と決意を述べました。

(斉藤建設(株) 斉藤一明)



## 高校生現場見学会 思川開発事業南摩ダム建設現場

【芳賀支部】



▲ダム本体工事を間近から見学

令和4年10月14日、芳賀支部恒例の真岡工業高校1年生の現場見学会を開催いたしました。出発前に坂野支部長のあいさつと石島教頭が「普段の授業では体験できないような学びを体験してほしい」と訓示しました。

今年度は鹿沼の南摩ダムを見学し、現地では「水資源機構思川開発建設所」事業調整役の大村朋広氏が工期は1969年～2024年度完成で本体、導水施設、管理設備、付け替え道路などに202億3,400万円の予算を組んでおり、総貯水量5,100万立方メートル、導水施設は黒川導水路(延長約3キロ)で最大通水量毎秒8立方メートル、大芦川導水路(約6キロ)が最大通水量毎秒20立方メートル見込まれていると説明しました。

生徒たちは間近で見る大型重機やダム建設状況を見て驚いていました。

また、アンケートを取った結果



- 実際に作業現場を見るととても楽しく仕事のやりがいがありそう。
- ダム工事ではいろいろな建設会社がチームとなってダムを造っているのが分かった。

見学をした際に「せーの」という声が聞こえてきて建設現場も連携が必要だ。

このほか様々な感想が出されて生徒たちの真剣さが伝わってきました。

今回の現場見学会を機に一人でも多く建設会社に就職されることを望んでいます。(大関建設(株) 大関好男)

## 若年者建設業担い手 育成支援事業

【下都賀支部】



▲出席者全員で挨拶

令和4年10月21日および11月1日、下都賀支部建友会にて、「若年者建設業担い手育成支援事業」を行いました。対象になった高校は、小山北桜高等学校建築システム科と栃木農業高等学校環境デザイン科で、授業形式で建設業の必要性や現場代理人の仕事の内容についてわかりやすく説明させていただきました。



▲栃木農業高等学校にてWEB授業の様子

また、Zoomによる現場見学会としましてWEBにて佐藤工業(株)で施工されている獨協医科大学看護学部棟増築工事および小林・川島JVで施工されている一級河川永野川護岸工事その18と中継をつなぎ、現場代理人が現場事務所の様子や実際に施工している現場の状況など、質疑応答を交え丁寧に説明を行いました。

その後、少人数のグループに分かれて座談会を開き、会員が直接生徒たちと会話をしながら建設業の魅力の説明しました。

その後、少人数のグループに分かれて座談会を開き、会員が直接生徒たちと会話をしながら建設業の魅力の説明しました。



▲小山北桜高等学校にて授業



▲座談会の様子

生徒たちからも熱心に質問が上がったり、時折笑い声が響き渡るなど、終始興味深く耳を傾けてもらいました。(株)山中組 山中慎太郎



## 塩谷支部創立100周年 記念式典

【塩谷支部】



▲岡村支部長式辞

令和4年10月7日、栃建協塩谷支部創立100周年記念式典を矢板市のメイフラワーゴルフクラブで開催しました。

築・五十嵐両衆議院議員、小菅県議会議員、県出先事務所長、谷黒協会長をはじめ正副会長、各支部長、同支部歴代支部長ら40人を来賓に招き塩谷支部会員が出席し、総勢85人が100周年を祝いました。

塩谷支部は1923年(大正12年)1月に県土木建築請負業組合の塩谷支部として発足し、昭和26年に現在の名称であります栃木県建設業協会塩谷支部と改称されました。

記念講演としてバドミントン元日本代表の小椋久美子氏を招き「今後の夢ある未来について」と題し、失敗を成功に導く心の持ち方について講演していただきました。



▲オープニングムービー

塩谷支部は令和3年3月に新会館が完成し、支部会員一同気持ちを新たに支部運営に日々励んでおります。支部創立100周年を迎え、先人

のご尽力に感謝するとともに、次の100年も時代の変化に対応し、建設業としての使命を果たしながら次世代につなげていきたいと思っております。

100周年記念事業にご尽力いただきました、支部長、100周年準備委員会、協賛者様に感謝申し上げます。

(友建工業(株) 小菅秀樹)

## 山崎エリナ写真展と 建設フェスタ

【那須支部】



▲高所作業車搭乗体験



令和4年8月6日から9月19日、那須塩原市図書館みるるにおいて写真家山崎エリナ写真展「この那須(くに)をつくる この那須(くに)を守る仕事 ~日常と安全を守る人々~」(共催:那須塩原市)を開催しました。2020年から2021年にかけて那須支部会員の施工現場を撮影した写真を展示し、地域建設業の仕事への理解と地域の若手への入職の促進を目的に実施されました。



9月10日には渡辺美智太郎那須塩原市長を交えたトークショーを開催し、多くの市民が観覧にいられました。また、同日には那須塩原市まちなか交流センターにおいて那須支部・那須支部青年の会にて「建設フェスタ」を開催し、炊き出し訓練カレーの配布、重機の搭乗体験を行い多くの子供たち、家族連れが来場され地域建設業を身近に感じてもらえる有意義なイベントとなりました。

※トークイベント動画 <https://youtu.be/XGOSy-DlofE>



(マルホ建設(株) 星 豪紀)



## 豚熱 (CSF) 56,298頭埋却処分実施

### 【烏山支部】



▲「埋却作業を行う烏山支部員」(写真提供: 栃木県)

烏山支部では、県内4事例目となる『豚熱(CSF)』発生の連絡を受領し栃木県の対応方針等の確認をいたしました。栃木県豚熱対策本部、本部長福田富一知事の下に、令和4年7月23日(土)16時30分から塩谷南那須地域豚熱現地対策本部会議に出席し、栃木県と栃木県建設業協会の協定に基づき、烏山支部が国内最多を更新する豚熱埋却処理作業を実施することになりました。

7月22日に対策本部を設置し技術委員を緊急招集。令和4年3月に那珂川町にて発生した豚熱埋却作業の経緯があり、その経験を活かしながら真夏の作業対応、作業計画等の検討を行いました。全員協議会で計画・班編成等の説明及び協力を依頼、支部員が一致団結して対応する旨の了解を得ました。

灼熱の中、防護服を装着しての埋却作業は困難を極めましたが、9月9日には殺処分(56,298頭)された豚の埋却作業が完了。9月30日には、その他の埋却作業、消石灰の散布が終了し、計画より早く作業を終えることができました。

顧みますと、豚熱現地対策本部、塩谷南那須農業振興事務所、県北家畜保健衛生所との緊密な協議や打合せが埋却実施に向けて重要でありました。また、無事故で作業を完了することができましたが、安全や効率的な進捗のためには、毎日実施された作業班の引継ぎ時の安全対策確認が重要なポイントとなりました。

最後に、関係者の皆様方の迅速な連携により豚熱埋却作業が順調に実施できたことに感謝申し上げます。  
(株)中山建設 阿久津 太



▲「ブルーシート張りを行う烏山支部員」(写真提供: 栃木県)



▲「消石灰散布を行う烏山支部員」(写真提供: 栃木県)



## 総合学習支援活動 (葛生南小)

【安蘇支部】



▲将来の仕事は建設業へ

令和4年11月2日、安蘇支部では佐野市立葛生南小学校において会員企業17名で総合学習支援活動を行いました。安足土木事務所からも3名の職員に参加していただきました。

全児童44名を対象に、建設業の仕事内容は建物や道路などを造るのはもとより、災害時の対応や除雪活動、鳥インフルエンザ・口蹄疫等への対応も行っていることを、紙芝居や建設学習帳を使って説明しました。

続いて体験学習ではバックホウや高所作業車に同乗し、建設機械のすごさや楽しさ、魅力を感じてもらいました。並行して安足土木事務所によるドローン飛行も間近で見ることができて良かったと思います。



天気にも恵まれ、児童のみみんなも楽しく体験できたと思います。感想で「建設業の知らない部分も分かり勉強になった。」という言葉もあり、将来の進路の選択肢の一つになってほしいと思いました。葛生南小は今年度で閉校となりますが良い思い出となってほしいです。

(株)木村土建 木村一成

## 足利尊氏公マラソン大会前 クリーン作戦

【足利支部】



▲足利尊氏公マラソン大会クリーン作戦

令和4年11月2日、「生涯スポーツの振興と足利市の魅力を全国に発信」をスローガンに、足利市主催の第45回足利尊氏公マラソン大会が開催され関東圏から2,870人が参加し、快晴のもとで市民ランナーが汗を流し元気に完走しました。例年5千人を超えるランナーが集う大会ですが、コロナの影響もあり3年ぶりに規模を縮小し開催されました。私たち建設業に携わる者として、県内外から足利市に足を運んでくれるランナーにスポーツを楽しんでもらうため、「おもてなしの心」で大会前に清掃活動を実施し今回で15回を迎えました。

ボランティア活動の当日は、道路管理者である安足土木事務所、足利市、栃建協足利支部、足利市建設業協力会、両毛舗装事業(同)の職員及び会員延べ100人ほどが参加し、県庁舎前で出発式を行い栃木県若手職員の氣勢の掛声のもとコース周回を7班に分かれ清掃活動を行いました。



今後もこの歴史ある大会が足利の魅力発信の起爆剤として末永く続くことを祈念し、これからも活動を続けます。

(三興工業(株) 山根良樹)

従業員を採用したい建設事業者の皆さま



## 建設キャリアアップシステム

Construction Career Up System

の登録はお済みですか？

### 建設現場で働く若手が求めることトップ<sup>3</sup>

第1位 週休2日制の推進

第2位 仕事が年間を通じてあること

第3位 能力や資格を反映した賃金

厚生労働省「R2建設業における雇用管理状況把握実態調査」より作成

### 建設キャリアアップシステム（CCUS）は、

- ✓ 職人の適正な評価と給与の引上げ
- ✓ 職人を育てる企業が評価され、受注機会が確保される環境整備

を目的に、国・業界が一体となって推進しているシステムです。

2023年度から「あらゆる工事でCCUSを完全実施」を目指しています。

詳しくは裏面へ 

# 建設キャリアアップシステム(CCUS)の仕組み

## システムへの登録

登録すると、CCUSカードが交付されます。



## 現場での読み取り

現場に設置されたカードリーダーなどでCCUSカードを読み取ります。



## 就業履歴の登録

CCUSに就業履歴が登録されます。



## 施工業者の施工能力を見える化



ゴールドカード：●●人  
シルバーカード：▲▲人

基礎情報：★★★★

施工能力：★★★★

コンプライアンス：★★★★

所属する職人のレベルや人数等に応じて、施工業者の施工能力を★～★★★★により評価。結果は評価団体・国交省のHPで公表。

## 職人のレベルを判定

ゴールド：レベル4  
シルバー：レベル3  
ブルー：レベル2  
ホワイト：レベル1



レベルに応じた色のCCUSカードが職人に交付されます。

## 建設キャリアアップシステムのメリットとは？

✓職人を育てると、施工能力の評価がUPし、受注機会の拡大に期待

✓公共工事で評価がUP

✓作業員名簿の作成や建退共手続など事務作業の効率UP

✓施工業者・職人の評価が見えることで、施工に対する信頼UP

## CCUSチャンネルのご案内

いつでもどこでも、どの端末からでも。



申請登録も現場運用も、疑問に思ったらすぐにアクセス！  
動画でもわからないご質問はCCUSホームページ！トップ  
右上「FAQ（よくあるお問い合わせ）はこちら」をチェック。  
掲載Q&Aは随時更新中！

YouTube CCUSチャンネル で検索！



(CCUS HP)

# 東日本建設業保証グループ会社（KKS）からのご案内

## 工事の出来高に応じた融資を利用してみませんか？

新たな資金調達手段をお考えの方に…

## KKS出来高融資のご案内

～国土交通省 地域建設業経営強化融資制度～



### よく利用されるケース

当該工事の資金繰りを何とかしたい！

既存の融資枠とは別の資金調達手段を確保したい！

竣工金の受取りまで時間がかかりそう！

経営事項審査の評点をアップしたい！

#### 保証人・不動産担保は不要です！

工事請負代金債権を担保とするので、保証人を立てたり、不動産を担保とする必要はありません。

#### 新たな資金調達手段を確保できます！

お取り引きしている金融機関の融資枠に影響することなく、新たな資金調達手段として利用できます。

#### 工事代金の入金遅れを解消できます！

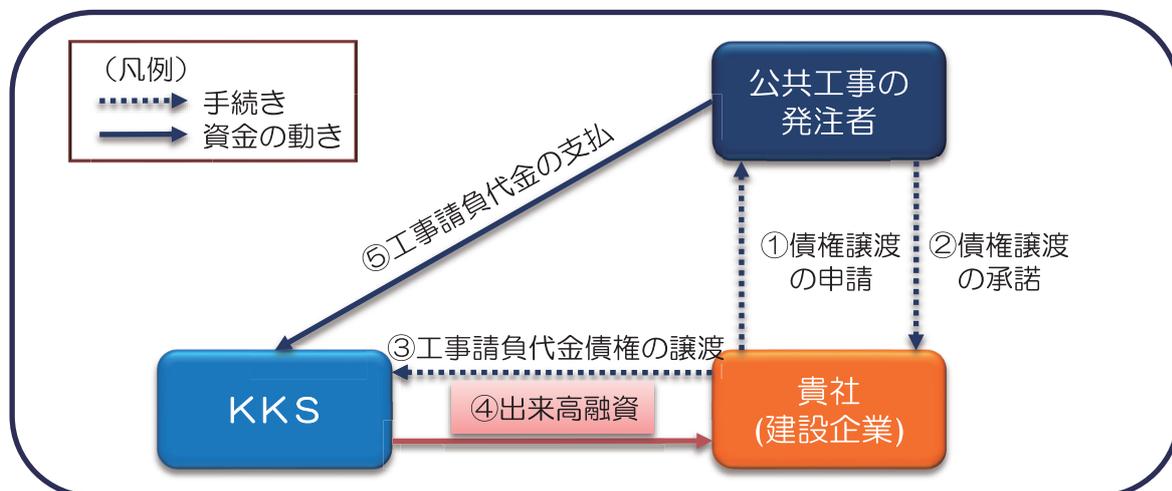
資金調達日を確定することにより、資金繰り計画を立て易くなります。また、竣工金入金によって融資の返済を受けたものとしますので、余分なコストがかかりません。

#### 経審上も有利です！

出来高融資での借入金には、経営事項審査の経営状況分析における「負債回転期間」の負債合計から控除されます。

## KKS出来高融資のしくみ

国の「地域建設業経営強化融資制度」に基づき、貴社の公共工事請負代金債権（以下、工事請負代金債権とします）を担保として、KKSが出来高に応じて融資を行うものです。





## お申込から融資実行までの流れ



## ご利用の留意点

- ※ 基準金利は年1.9%です(但し基準金利は、金融情勢により変動することがあります)。
- ※ 融資時には、利息のほかに、事務手数料、出来高査定費用(実費)、手形貸付に係る印紙、法人の印鑑証明書等の費用がかかります。
- ※ 事務手数料については、一律11,000円(税込)です。ただし、同一工事で複数回の融資をご利用の場合は、2回目以降7,700円(税込)です。
- ※ 出来高査定費用は工事内容や工事場所等に応じて変動します。



## ご利用いただける発注者の例示

- 【国】 国土交通省、農林水産省、文部科学省、防衛省
- 【独立行政法人】 東日本高速道路(株)、都市再生機構、水資源機構
- 【地方公共団体】 栃木県、宇都宮市、足利市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、那須塩原市、さくら市、上三川町、那須町、壬生町

制度に関するお問合せ先 ⇒ 東日本建設業保証(株)栃木支店 028-639-2388  
 お申込に関するお問合せ先 ⇒ (株)建設経営サービス 金融第二部 03-3545-8523

詳しくはWEBで

KKS出来高融資

検索

[www.kks-21.com](http://www.kks-21.com)



発行人・お問合せ先

**KKS** 株式会社 建設経営サービス

金融第一部

(貸金業登録番号 関東財務局長(5)第01480号)

〒104-0045 東京都中央区築地5-5-12 URL <https://www.kks-21.com>  
TEL 03-3545-8523 FAX 03-3545-8530

金融第二部  
宮城営業所  
愛知営業所  
石川営業所

東京都中央区築地5-5-12 TEL 03-3545-8523  
宮城県仙台市青葉区支倉町2-48 TEL 022-262-8622  
愛知県名古屋市中区武平町5-1 TEL 052-962-3525  
石川県金沢市弥生2-1-23 TEL 076-242-1285

一般社団法人 栃木県建設業協会 推薦

栃木県内の電子入札用ICカードは

アオサイン

**AOSign** サービス



発行シェア No.1\* 累計発行枚数は59万枚突破!  
※電子入札コアシステム対応のICカードとして

商品ラインナップ No.1 有効期間1年+30日~5年  
までの5種類をご用意!

発行スピード No.1 弊社書類到着後、  
通常5営業日以内に発行!

初めてお申し込みの企業様限定 アンケートご回答特典 初回とく割実施中!

お問い合わせ先

**NDP** 日本電子認証株式会社 〒104-0045  
TEL 0120-714-240 東京都中央区築地5-5-12 浜離宮建設プラザ3F  
<https://www.ninsho.co.jp/index.html>

**東日本建設業保証株式会社** 栃木支店  
TEL 028-639-2388  
FAX 0120-027-316

〒321-0933  
栃木県宇都宮市築瀬町1958-1  
栃木県建設産業会館3F

日建学院は開講以来、建築士、宅建士、各種施工管理技士合格者輩出のトップを走り続けます。

# 合格者輩出数55万人突破!

業界実績

# No.1

日建学院は、客観性・公平性の高い第三者の調査機関より  
下記の3つでNo.1の評価をいただきました。



女性を選ぶ資格スクール  
No.1



建築のプロがおすすめする建築士講座  
No.1



大学生を選ぶ資格スクール  
No.1

日本マーケティングリサーチ機構 調査概要:2020年4月期、ブランドのイメージ調査

三冠達成の資格学校です!

## 人材開発支援助成金 88% を 受講料の最大約 助成!

※上記日建学院宇都宮・小山校2級建築施工管理技士一次・二次講座を利用した場合(20人以下の中小建設事業主)。

- ◆ 中小建設事業主が雇用する建設労働者に有給で技能実習を受講させた場合、経費・賃金の一部を助成。(要件を満たす必要があります)
- ◆ 経費助成率:技能実習の実施に要した実費相当額の割合は  
 [20人以下の中小建設業主] 3/4  
 [21人以上の中小建設業主] (35歳未満) 7/10 (35歳以上) 9/20  
 [中小建設事業主以外 対象が女性建設労働者] 3/5  
 [生産性向上助成] 3/20
- ◆ 中小建設事業主の場合、建設業雇用保険に加入している事業主が対象。  
 ※令和4年度における雇用保険料率12.5/1,000(4~9月)、16.5/1,000(10~3月)の適用を受ける事業主

### 日建学院 主要開講座

- 1級土木施工管理技士
- 1級建築施工管理技士
- 1級管工事施工管理技士
- 1級造園施工管理技士
- 1級舗装施工管理技術者
- 1級建築士
- 宅地建物取引士
- 2級土木施工管理技士
- 2級建築施工管理技士
- 2級管工事施工管理技士
- 2級造園施工管理技士
- 給水装置工事主任技術者
- 2級建築士
- 建築設備士 他多数



あなたの夢、応援します。

# 日建学院

宇都宮校 TEL:028-637-5001

小山校 TEL:0285-31-4331

建退共の掛金が**電子申請**で納付可能になりました。

未来に  
安心を

現場に信頼を、  
将来に笑顔を。

建退共



事業主が変わっても  
通算できる！  
安心！

一人親方も  
入れる！  
安心！

建退共加入の会社で  
働いていれば  
退職金がもらえる！  
安心！

建退共は建設業で働く労働者のための**退職金制度**です。



国がつくった退職金制度なので安心かつ確実！ **制度説明動画配信中**

**けんたいきょう**

独立行政法人勤労者退職金共済機構  
建設業退職金共済事業本部  
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL03-6731-2866

建設業界の皆様へ

建退共に参加しませんか  
福祉の増進と企業の振興のための退職金制度です

●加入できる事業主  
建設業を営む事業主

●対象となる労働者  
建設業の現場で働く

●掛金は  
月額 320円

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与

- ◎法律に基づき運営される国が作った制度
- ◎建退共に参加し、履行している場合は「経営事項審査」で加点評価
- ◎国からの財政上の支援

特長

- ◎掛金は全額非課税（損金または必要経費に算入できます）
- ◎複数の企業間で就業しても通算して退職金を支給
- ◎加入の手続きは簡単（各都道府県の建退共支部で加入）

建退共のホームページを、是非ごらん下さい。

知ってほしい、より安心の制度。

**掛金負担が軽減**  
契約者割戻金制度がスタート  
(令和4年4月より)

**手厚い補償**  
保険金区分合計  
最高**5,000万円**

**労働者と企業のリスクをカバー**

今すぐ、ご加入を!

制度が変わって、安心充実。

法定外労災補償制度

# 建設共済保険

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

### 育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

### 労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

## 建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関：(一社) 栃木県建設業協会  
〒321-0933 宇都宮市築瀬町1958-1  
Tel. 028-639-2611 Fax. 028-639-2985



正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



**0120-913-931**

受付時間 午前9:00～午後5:00(土日祝を除く)

建設共済保険

検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>



福井コンピュータは「i-Construction」に対応したソフトウェアをご提供することで建設業界を全面的に支援していきます。

おかげさまで、40周年。

# i-ConstructionとBIM/CIMを強力に支援!



New!

3D点群処理システム

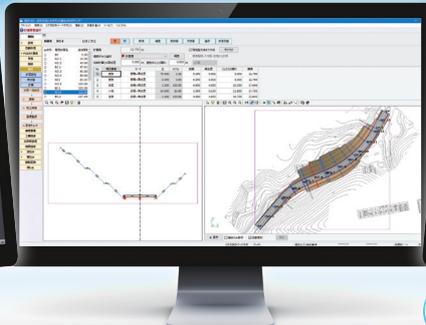


**TREND-POINT**

3D点群処理システム【トレンドポイント】

**i-Constructionの出来形管理要領に対応した3D点群処理システム**

3Dレーザースキャナーやドローン、MMS等で計測した膨大な点群データを高速に取り扱うことができ、豊富なフィルター(ごみ取り)や断面作成、メッシュ土量計算が可能な3D点群処理システム。



施工計画・3D設計データ作成システム



土木施工管理システム  
【エクストレンド読取】

**3次元設計データ作成から、日々の施工管理まで幅広く支援!**

測量計算、CAD、出来形・写真・品質管理、電子納品などをパッケージした土木施工業向けオールインワンシステム。i-Constructionで必要不可欠な3次元設計データの作成から日々の施工管理までをサポート。



New!

3D-CADシステム

**TREND-CORE**

CIMコミュニケーションシステム【トレンドコア】

**最新「TREND-CORE」の30日間無料体験版をお試し下さい!**

ダウンロードは **CORE 体験版 ダウンロード**    
 <https://const.fukui-compu.co.jp/products/trendcore/download.html>

**福井コンピュータ株式会社**  
〒910-0297 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・さいたま・千葉・東京・川崎・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・山口・福岡・熊本・別府・宮崎・鹿児島・那覇

製品情報・カタログ請求  
各種お問い合わせは

【福井コンピュータグループ総合案内】  
 **0570-039-291**

福井コンピュータ   
<https://const.fukui-compu.co.jp>

経営状況分析の中身が分かる!

ご申請特典 **無料**



CIIC経営状況分析

## Y点解説レポート 始めました!

当財団に経営状況分析をご申請いただいた皆様に、  
貴社の経営状況の評点(Y)を分析指標毎に解析し、増減や順位を  
チャートで分かりやすくまとめたレポート(Yレポート)を提供しております。  
Y点アップや経営目標の参考資料として、是非ご活用ください。

**Yレポートのおすすめポイント** 詳細はホームページをご覧ください。

- ▶ Y点の増減要因が、X1~X8の指標毎によくわかる!
- ▶ 指標毎に、得点率や推移、Y点のうち何点なのかがよくわかる!
- ▶ 指標毎に貴社の順位と平均値がよくわかる!

当財団に経営状況分析をご申請いただいた方は、  
無料でご利用になれます。



登録経営状況分析機関  
登録番号 1

**CIIC**

一般財団法人

**建設業情報管理センター**

**東日本支部**

【お問い合わせ】 ■北海道 TEL 011-222-2688 ■東北 TEL 03-3544-6903  
■関東 TEL 03-3544-6901 ■中部・北陸 TEL 03-3544-6902

〒104-0045  
東京都中央区築地2丁目11番24号(第29興和ビル7階)

詳しい情報は <http://www.ciic.or.jp/> または **CIIC Y点解説レポート**

当財団は、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)に関するISO規格(27001)の認証を取得しています。



# 建設業経営状況分析は ワイズ公共データシステムへ



国土交通省 建設業許可・経審  
電子申請システムと連携

◆今すぐダウンロードできます!◆

建設業許可・経審ソフトが**完全無料**

申請の**88%**は**電子申請**

最短 **3時間**以内受取

**wisePDS**

国土交通省 登録経営状況分析機関 登録番号4

ワイズ公共データシステム株式会社

TEL 026-232-1145 本社：長野 営業所：北海道・大阪・福岡

栃木県の建設情報なら

## 日本工業経済新聞

### 公共工事情報

最新の公共工事情報を  
いち早くお届けして  
おります

### 入札情報

最新の入札結果・予定・  
公告情報を掲載

### 民間建築情報

建築確認、開発行為、  
大規模小売店舗の申請  
状況が分かります

公共事業、業界の動きをスピーディーにお伝えします

株式会社  
日本工業経済新聞社

宇都宮市築瀬町 1958-1 栃木県建設産業会館 1 階

☎028-634-0141 ㊟028-634-0045

mail info@tochigi-koukei.com

無料試送も随時受付中 6カ月 48,600円(税込)



過去掲載記事はこちら

・私たちは安全を優先します・

技能講習などを受講し、安全作業に必要な知識と資格を  
身につけましょう!



建災防

建設業労働災害防止協会栃木県支部

〒321-0933 栃木県宇都宮市築瀬町1958-1 栃木県建設産業会館 1 階

TEL 028-639-3133 FAX 028-639-3806

URL <https://www.kensaibou-tochigi.jp/>



積算資料と追加資料のデータベースをWeb経由で検索・出力

## 積算資料電子版

掲載単価は全て調査価格! 約61,800規格を掲載!

●月刊「積算資料」約52,600規格と「積算資料 別冊」約9,200規格  
(2022年7月号時点)を全て調査価格で掲載

検索結果はExcelで出力できます!

●【検索・絞込】ツリー・フリーワード検索や都市、流通段階、数量区分の絞り込みが可能  
●【マイデータ】検索した単価や名称をExcelデータとして保存可能(一部点数制限あり)  
●【閲覧・印刷】表形式でのデータベース閲覧、月号の比較、PDFによる誌面の閲覧と印刷が可能

ID・パスワードのみで閲覧できます!

●1契約につき7ユーザーまでの登録 このうち3ユーザーの同時利用が可能

無料体験版の  
ご利用はこちら



年間契約料(税込)  
**48,396円**  
/1契約(毎月更新)

●お申し込み・お問い合わせは●

一般財団法人 経済調査会 業務部

〒105-0004 東京都港区新橋6-17-15 菱進御成門ビル  
TEL 03-5777-8222 FAX 03-5777-8237

講習会の  
詳細は



図書のご  
購入は



会員のみなさまへ

～会員のみなさまを不測の事故からお守りします～

### 当協会での「各種保険制度」のご案内

① 第三者賠償事故包括契約保険制度	4月1日より1年間
② 土木工事総合保険制度	8月1日より1年間
③ 建設工事総合保険制度	12月1日より1年間

**栃木県建設産業団体連合会**  
一般社団法人 **栃木県建設業協会**  
TEL 028-639-2611 FAX 028-639-2985  
(有)アクト(三井住友海上火災保険㈱代理店) TEL 028-639-2611

お問い合わせ先

## あなたの「学び」を あなたの「力」に

土木施工管理/継続学習 (CPDS)

### 栃木県土木施工管理技士会

〒321-0933 宇都宮市築瀬町1958-1 ■Tel. 028-639-2611 ■Fax. 028-639-2985



株式会社 小松製作所 代理店  
特定自主検査認証工場 栃第1号

## 株式会社 愛全重車輛

- 本社 宇都宮市平出町1044-1 TEL 宇都宮(028)661-6441(代表)
- 宇都宮営業所 宇都宮市平出町1045-3 TEL 宇都宮(028)683-2282(代表)
- 那須営業所 那須塩原市三区町504番地8 TEL 那須塩原(0287)36-3851(代表)
- 鹿沼営業所 鹿沼市榑木町558-1 TEL 榑木(0289)75-4018(代表)
- 中古車センター 鹿沼市榑木町558-1 TEL 榑木(0289)71-1202(代表)

<http://www.aizen-sh.co.jp/>

## 栃木県中央生コンクリート協同組合

事務所: 〒321-0932 宇都宮市平松本町1140番地1 生コン会館2F  
電話: 028 (635) 5583 / FAX: 028 (635) 5587

- 渡辺社由共同生コン株式会社 小山レミコン株式会社鹿沼工場
- 株式会社増淵生コン 小山レミコン株式会社真岡工場
- 株式会社宝木建材工業 有限会社添谷工業
- 東武栃木生コン株式会社 株式会社上野生コン
- 菊一生コン株式会社 有限会社薄根生コン
- 株式会社五月女生コン鹿沼工場

**KOMATSU**

すべての人に、あらゆる場面で。  
追求したのは、使いやすさ。

## コマツ栃木株式会社

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38番地12  
TEL 028-662-6093 FAX 028-660-0781



「掘る」「吊す」「均す」  
1台3役舗装バージョン  
PC30UU-6 舗装バージョン新登場!



- 宇都宮支店 TEL 028-662-6088 佐野支店 TEL 0283-21-8859
- 鹿沼支店 TEL 0289-72-1005 那須支店 TEL 0287-62-2611
- 小山支店 TEL 0285-28-1682





いま づ げん こう ぼ り い  
**今津元寇防塁**  
 Imazu Stone Fortifications  
 今津元寇防塁 이마즈 몽고침입 방루터

文永11年(1274年)、元(モンゴル)軍は博多湾に侵入、上陸して豊前守と戦いを繰り返しました。豊前は元軍の高麗軍に備え、九州の御家人に命じて博多湾岸に約20kmにわたる石塁(元寇防塁)を築かせました。石塁は、西は今津から東は豊前まで築かれたのですが、このうち今津地区は約3kmと、最も長い縦塁で残っています。今津地区の石塁の構造は、底幅3m、天端幅2m、高さ3mに石を積み上げ、内側は石や砂で充填するものです。石材には、花崗岩や玄武岩が用いられています。

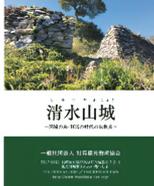
In 1274 Mongolian forces raided Hakata Bay and came ashore, where shogunate troops engaged them in fierce battle. To guard against a repeat of this attack, the shogunate ordered lower-ranked vassals in Kyushu to build a roughly 20km-long stone wall along the coast of Hakata Bay. This roughly 3km wall in the Imazu area is the longest remaining stretch of the fortifications against the Mongolian invasion.

文永11年(1274年)、元(モンゴル)軍は博多湾に侵入、上陸して豊前守と戦いを繰り返しました。豊前は元軍の高麗軍に備え、九州の御家人に命じて博多湾岸に約20kmにわたる石塁(元寇防塁)を築かせました。石塁は、西は今津から東は豊前まで築かれたのですが、このうち今津地区は約3kmと、最も長い縦塁で残っています。今津地区の石塁の構造は、底幅3m、天端幅2m、高さ3mに石を積み上げ、内側は石や砂で充填するものです。石材には、花崗岩や玄武岩が用いられています。



今津元寇防塁跡

この石塁は、西は今津から東は豊前まで築かれたのですが、このうち今津地区は約3kmと、最も長い縦塁で残っています。今津地区の石塁の構造は、底幅3m、天端幅2m、高さ3mに石を積み上げ、内側は石や砂で充填するものです。石材には、花崗岩や玄武岩が用いられています。



**清水山城**  
 一宮(清水) 11世紀末(約1000年)

三ノ丸からは厳原市街地・厳原港が一望できます。



一ノ丸の虎口と石垣

日本軍全軍の水先案内役として先鋒を務め、戦争後は講和交渉の先頭に立って孤軍奮闘し、時代の流れに翻弄された23歳の若き対馬島主でした。慶長3年(1598年)8月、豊臣秀吉が病死し戦いが終わると紆余曲折を経て、宗氏の努力で再び朝鮮との講和を成功させました。徳川幕府になってからも対馬藩は朝鮮との板挟みとなり、宗氏の苦悩が続きました。派遣されてくる朝鮮通信使を迎える施設として、清水山城の麓に位置する金石城を利用しました。金石城は宗氏の居城でしたが近世城郭に改築し、石垣や堀が廻らされましたが天守は築かれませんでした。現在は木造の二重櫓門が復元されています。



復元された二重櫓門

**史跡 金石城跡**  
 一宮(清水) 11世紀末(約1000年)

清水山城の麓に位置する金石城を利用しました。金石城は宗氏の居城でしたが近世城郭に改築し、石垣や堀が廻らされましたが天守は築かれませんでした。現在は木造の二重櫓門が復元されています。

ました。7年後に「弘安の役」で約14万～15万6,989人、軍船4,400艘の軍勢が攻めてくるまでの間に、日本側は博多湾岸に約20kmにも及ぶ石築地(元寇防塁)を築きました。最も頑強な部分で高さ3m、幅2m以上で、元軍は博多湾岸からの上陸を断念しました。日本軍と元軍で一進一退の戦いを続けていましたが、戦闘が始まってから約2か月後の夜中に到来した台風により元軍の軍船の多くが沈没、損壊し兵士が溺死。わずかに残った元軍は急遽撤退し、日本侵略を中止したのでした。日本では、「我が国は神の国で今回も神風が吹いて神様が守ってくれた。困った時でも神がついているので安心だ」と何とそこで一段落してしまいました。井の中の蛙を絵に描いたようでした。

③の文禄・慶長の役に移ります。最初に清水山城を紹介します。豊臣秀吉の朝鮮出兵に際し、唐津の名護屋城と朝鮮半島の釜山を結ぶ輸送・連絡の中継点として、秀吉の命令で対馬に築かれた城です。対馬の海の玄関口である厳原港を見下ろす清水山の尾根に沿って、山頂に一の丸、中腹に二の丸、東の段丘に三の丸を配置し、それらの曲輪が約500mの縦石垣でつながっています。信長・秀吉時代の形式や、朝鮮出兵時に日本の武将が築いた倭城に共通する要素がみられます。朝鮮から撤退後はすぐに廃城となったため、遺構が改変されずに良好に残っています。

山ばかりで耕地が狭い対馬では、生きる糧を得るには朝鮮との交易が欠かせないものでした。対馬の藩主宗家は朝鮮に貢物をして返礼品や米を得ることもありましたが、また、対馬藩は長崎とは別に朝鮮との交易を幕府から認められていました。貿易のための朝鮮への輸出品を長崎から調達し、朝鮮からの輸入品を大阪・京都・江戸に送り利益を上げる中継貿易をしていました。ところが、秀吉が文禄・慶長の役によって朝鮮に侵攻したことで、国交は悪化してしまいました。

対馬の初代藩主・宗義智(よしとし)は、戦時下にあっては幕府は、朝鮮に対し高圧的に出れば相手はこちらの言うことを聞くだろうという考え方でした。一方、朝鮮は日本を一段低く見ていたので、日本の無理難題を聞くわけがなく、交渉があるたびに対馬藩は前面に立ち、朝鮮との板挟みとなってしまうのでした。ある時の朝鮮使節来日の際には双方の意思の食い違いに困った挙げ句、国書の偽造を行い朝鮮に提出し、その後送られてきた返書にも矛盾がないように偽造せざるを得ませんでした。

後にその問題が幕府に発覚してしまいました。しかしその時、対馬氏は罪を受けることにはなりません。幕府の朝鮮に対する認識が充分でなかったこと、それにより宗氏が国書の改ざんという手段をとらざるを得なかったことが理由でした。本音は朝鮮との国交・貿易については対馬氏に任せるほかなかったようです。幕府はいざ事が起きると、建前ばかりの強硬論を押し付け、結果が思わしくないときは対馬氏のせいにする。責任感の薄い私からみれば、「こんなことやってられない」と投げ出してしまったでしょう。(何を寝言を言っているのか?)初めからそんな重要な任務がこんな私に来るわけがないか(当たり前!)

最後に「対馬三聖人」の一人といわれる「雨森芳洲」を交渉に当たらせました。芳洲は「誠心外交」を実践し朝鮮交渉の全権大使的な立場で朝鮮と対馬、ひいては日本を良好な状態に戻すことができました。いつの世にも、探せば「優れ者」がちゃ〜んといるもんですね。頓首 (参考) ユーチューブに動画をアップしてあります。





■総会員数 348社

宇都宮 75	鹿沼 27	日光 35	芳賀 33	下都賀 56
塩谷 33	那須 40	烏山 15	安蘇 17	足利 17

■新規会員 〈日光〉奥日光林産興業(有) 飯見千代治

■退会会員 〈下都賀〉(株)フジシマ建設

■代表者変更

〈宇都宮〉丸山工業(株) 鳥居 勉



〈宇都宮〉福宮建設(株) 福田 裕



〈宇都宮〉(株)長嶋組 手塚 且久



〈宇都宮〉大安工業(株) 猪狩 圭太



〈宇都宮〉米弥工業(株) 亀和田辰紀



〈日光〉柴田建設(有) 柴田雄一郎



〈日光〉東武建設(株) 飯野 秀夫



〈日光〉(株)阿部工務店 阿部 路代



〈芳賀〉鶴見建設(株) 上澤 宏行



〈那須〉(有)熊田工業 平山 光昭



〈烏山〉金澤建設(株) 平野 光雄



■お悔やみ

令和4年10月5日	角田建設(株)	〈鹿沼〉取締役会長	角田満生 様 (享年80歳)
令和4年7月16日	大橋建設(株)	〈下都賀〉取締役会長	大橋辰雄 様 (享年70歳)
令和4年7月2日	(株)渡辺工務店	〈塩谷〉取締役会長	渡辺武男 様 (享年75歳)
令和4年10月29日	増田建設(株)	〈足利〉代表取締役	増田善弘 様 (享年68歳)



■編集後記



車を走らせると道路には例年どおり多くの工事看板を目にするこの時期。週休二日制、ICT活用等、ひと昔前までは見受けられなかった看板が増えてきたように感じられる。令和4年度、栃木県建設業協会は100周年を迎えた。先人たちの残してくれたインフラをより使いやすく、強いものにしていくことが私たちの使命だと考える。担い手不足が深刻化している昨今、次の100年の明るい未来へとバトンを繋いでいきたい。そして、新型コロナの水際対策も緩和され、国内にも活気が戻りつつある。今年こそは経済的にも良くなってほしいと願う。

(広報委員会 大関好男)



一般社団法人 栃木県建設業協会 〒321-0933 栃木県宇都宮市築瀬町1958-1



TEL.028-639-2611(代) FAX.028-639-2985 URL https://www.tochiken.or.jp/

- 宇都宮支部/TEL.028-636-5221
- 鹿沼支部/TEL.0289-65-2020
- 日光支部/TEL.0288-54-0140
- 芳賀支部/TEL.0285-82-2051
- 下都賀支部/TEL.0282-24-5420
- 塩谷支部/TEL.0287-43-0142
- 那須支部/TEL.0287-22-2124
- 烏山支部/TEL.0287-82-3161
- 安蘇支部/TEL.0283-24-3838
- 足利支部/TEL.0284-71-0044

けんせつ 令和5年1月1日発行(第213号) 昭和40年4月20日創刊  
 ◆発行/一般社団法人栃木県建設業協会 電話028-639-2611(代)  
 ◆発行人/広報委員長 岩原正樹  
 ◆編集・デザイン/藤崎印刷(株)

https://www.tochiken.or.jp/